

2016.2月 CATVいいなんネット番組表

※番組は朝6時から2時間毎に繰り返し放送。
※編成の都合上、番組を変更する場合があります。

月	火	水	木	金	土	日
1	・レッツ☆フィッシング ・いいなん情報箱 再	・うらうらと行く 島根半島 四十二浦を巡る旅	・連続テレビ小説 『ゲゲゲの女房』 第29巻 「チャンス到来!①」 第85回～第87回	・「松江城vs姫路城 ～黒と白 千鳥と白鷺 どちらも国宝!～」 再	・いいなん情報箱 ・いいなんヘルスUP! 再	7 ・いいなん情報箱 再 ・いいなんヘルスUP! 再
8	・グラントワチャンネル ・いいなん情報箱 再	・出雲のほそ道 ・ちよこつとさん菜園	11 建国記念の日 ・連続テレビ小説 『ゲゲゲの女房』 第30巻 「チャンス到来!②」 第88回～第90回	12 特別番組② ・島根県警啓発番組 ・国税庁制作番組	13 ・いいなん情報箱 再	14 ・いいなん情報箱 再
15	・よもよもだらぞ ・いいなん情報箱 再	・お天気てるてる情報 ・快傑!石見 ふしぎ探偵社	18 ・連続テレビ小説 『ゲゲゲの女房』 第31巻 「来るべき時が来た①」 第91回～第93回	19 特別番組③ ・「出雲国風土記探訪」 完結記念番組 ●6:00●10:00●14:00 ●18:00●22:00●26:00	20 ・いいなん情報箱 再	21 ・いいなん情報箱 再
22	・月刊あまチャンネル ・いいなん情報箱 再 生中継 ・「竹島の日」 式典&講演会 ●18:30～17:00	・CATV情報ネット しまね ・Looking for アクアス	25 ・連続テレビ小説 『ゲゲゲの女房』 第32巻 「来るべき時が来た②」 第94回～第96回	26 特別番組④ ・松江城天守国宝 記念シンポジウム ●6:00●10:00●14:00 ●18:00●22:00●26:00	27 ・いいなん情報箱 再	28 ・いいなん情報箱 再
29	・ちよい旅さぶん ・いいなん情報箱 再	【特別番組①】 「松江城vs姫路城～黒と白 千鳥と白鷺 どちらも国宝!～」 放送日時 2/5(金) 松江城の観光案内なども務めるMC2人 が姫路城を訪れ、松江城と比較しながら 世界遺産に負けない魅力を改めて伝えて いく。また、ともに城下町として発展した 松江と姫路のカルチャーについても取り上げる。	【特別番組⑤】 「出雲国風土記探訪」 完結記念番組 放送日時 2/19(金) 第一部 記念講演 「出雲国風土記を巡る歩いて」 ・第二部 トークショー 「藤岡大樹 番組こぼれ話」	【特別番組⑥】 松江城天守国宝記念シンポジウム 松江城再発見～天守・城・城下町～ 放送日時 2/26(金) 基調講演 「89年ぶりの国宝天守誕生! 今なぜ国宝になったか」松江城の成 り立ちや特徴、国宝指定の理由などについて専門家から説明がある。 ・パネルディスカッション 松江城の歴史的地位や魅力、今後の保存・活用方法な どについて、各分野の専門家による討論が行われた。 (はみろりホール/東京 有楽町にて収録)	【生中継】 「竹島の日」式典&講演会 放送日時 2/22(月) 県民、市町村、県が一体となって、竹島 の領土権の早期確立を目指す運動を 推進し、竹島問題についての国民世論 の啓発を図るため、2月22日を「竹島の 日」と定め、毎年式典が開催されている。 この模様をCATV協議会で生中継。	

中央で切り取って掲示しても便利です。



除夜の鐘が頼原の町に響く12月31日、午後11時半。由來八幡宮へ登る階段に約90個の暖かな光が灯りました。年が明けると、多くの家族連れが初詣に訪れ、子どもたち手作りの灯笼が、参拝者のみちしるべとなりました。階段の途中から頼原の町並みに目を向けると、家々の窓からもれる明かりが、つくるきれいな夜景。新たな名所の発見です。

お名前	地区	12月届出分
吉川 正毅様 (73)	親族	弘幸(野)
夏野 タツコ様 (87)	地区	幸(野)
澤田 政孝様 (68)	地区	幸(野)
田原 悦子様 (72)	地区	幸(野)
板垣 早見様 (85)	地区	幸(野)
那須 豊様 (88)	地区	幸(野)
金子 卓夫様 (92)	地区	幸(野)
廣原 清市様 (93)	地区	幸(野)
原田 學様 (89)	地区	幸(野)
山田 芽依ちゃん	地区	幸(野)
新生児	地区	幸(野)

今月の表紙

今月の人権標語
「家族でつくる人権標語」優秀作品から

すごいねえ
ほめてもらおうと
うれしいよ

赤名小3年 津和野 陽希さん
家族名 津和野 つわの あきこ 明子さん

標語に込められた思いを町民みんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。



俳句

琴峯華俳句会 会員作品抄(年末雑詠)

冬野菜瑞々しくて道の駅
暗き世のニユースばかりや年忘れ
安部 豊枝

流しゆく宣伝カーや町師走
繰り返す反省ばかりの師走かな
石田シツカ 政本 進美

売り声が師走の町を流れけり
降り出して愈々身に沁む冬の雨
垣内 良野 八嶋 敏江

初冠雪出掛けの支度忙がばや
年暮るる家毎高齢世帯かな
庄司 陽輝 垣内 峯雅

短歌

赤名短歌会 十二月詠草

なき人の通ひたりにし地王峠ひとり越えゆく背すぢをさむく
岩佐 恒子

立冬の雨の谿間に瀧の音憤る地球の音聞かおもひ
源 光子

衣掛城址の一望できるや高台に築城をすめる山崎町長
澤田 勝登

トンネルの出口の光に戸惑いて目覚めたる夜中冬の雨降る
星野 敦子

白鷺は遠に去りにし枯色の野を渡りゆく白き雨脚
石田フクエ

雨に合い雪に合いたる槽の実は赤き色をば失いもせて
三島 久恵

冬の日射し奥座敷まで入りて来て紺の座布団ふっくり眠る
澤田久美子

プールの脇に野良生えのアサガオひっそりと細くも強く霜月を咲く
門所 詠子

死を見つむ機会を得たり病院のベッドに臥しる夜の静謐
中村三四二

朝日影霜の模様凍てつける落ち葉踏み踏み師走を歩む
鳥田 勝信

有縁なる人々とも寄り添って早成の時代の風にふかれつ
清原 豊明

わが行くてささぎる川霧はれわたり尾関の山は秋色のなか
吉川 暎子

うっすらと雪を載せたる雨天の枝の無力に哀れを誘う
本間 麗子

めくもり情報局

